

「価値創造都市・京都」実現へ



積極的な研究開発と新事業・新市場開拓に取り組む

京都の産業界は、いま、研究開発のR&Dに、先端的で独創的な事業シーズを活用した新たな事業創造のエンタープライズのEを加えた「R&D+E」を合言葉とし、2040年を目標に「価値創造都市・京都」の実現を目指している。

折しも安倍政権は「3本の矢」による成長戦略、消費税増税などの是非を問うための衆議院の解散、総選挙に打って出た。しかし、長期デフレからの脱却に取り組む経済に停滞は許されない。このため産業界は、産学公連携による「オール京都」体制のもとで「R&D・ビジネス化」をキャッチフレーズに、京都市域から関西文化学術研究都市に至る京都イノベーションベルト地帯での国際的イノベーション拠点形成、チャレンジングな人材が集まるビジネス環境の整備などによるクリエイティブな創造拠点の構築などに取り組んでいる。

こうした状況下で、主要経済団体のトップインタビューや企業取材などを通して、積極的な研究開発と新事業・新市場開拓に取り組む動きを特集した。

Contents

■立石義雄・京都商工会議所会頭インタビュー	18面
■服部重彦・京都工業会会長インタビュー	19面
■安藤孝夫・京都経営者協会会長インタビュー	20面
■柏原康夫・関西文化学術研究都市推進機構理事長インタビュー	21面
■国家戦略特区構想および企業最新情報(オムロン)	22面
■企業最新情報(京セラ・島津製作所・三洋化成工業)	23面
■企業最新情報(ニチコン・日東精工・ローム)	24面
■企業最新情報(宝酒造・星和電機・片岡製作所)	25面
■企業最新情報(イシダ・日本新薬・ワコール)	26面
■企業最新情報(大木工芸・京都銀行・サムコ)	27面

大木工藝

炭素をもとに多様な「知産創造」

大木工藝は炭素、とりわけダイヤモンドの分子構造に近い「超高密度炭」に着目。その物性・機能を活用して、産学官連携を基盤に、環境、医療、美容、建材の産業分野で多様な「知産創造」に取り組んでいる。

炭素は、原料の違いや作製方法によって遠赤外線放射や電気伝導製、熱伝導、多孔性などの多様な特性がある。究極の電池材料、ナノカーボンも、2万円/1gの価格から2万円/1kgほどへ大幅ダウンが可能。装置にメドが付き、京都の国立・私立大学三者と協力している。

そうしたなかで、いま注目しているのが、「理想黒体」とも呼ぶ、人体と同じ炭素の高密度炭が吸収放射する遠赤外線。2009年、京都の医科大学との共同研究実験の結果、超高密度炭のヘルスケア炭珠ネックレスの効果が示唆され、共願特許を取得。累計売上200億円と大ヒット中の商品となっている。また、そのネックレスに各種センサーを組み込み、死亡率の高い「脳梗塞、心筋梗塞、肺炎」などに関するデータを日常生活の中で2週間記録するウェアラブル商品の研究開発を、国立医科大学と共同で開始。スマートフォンの専用アプリからデータを病院へ送り病気の予知・予防を行うこの商品は、2年後の発売を目標にしている。

京都銀行

ネットワークで企業成長支援

京都銀行は、中小・ベンチャー企業の幅広いニーズに応えるため「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」によるセミナー開催や個別相談などの支援を行っている。

セミナーでは、「産学官連携」「販路開拓」「資金調達」などニーズの高い内容をテーマに開催。また個別相談では、中小・ベンチャー企業から随時相談を受け、その相談に最適な支援が行える会員機関を紹介、より高度で専門的なノウハウや支援策が提供できるようにしている。

ネットワーク参加の支援団体は、近畿経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構など11の公的機関と日本アジア投資、日本ベンチャーキャピタルなど11専門機関、そして京都大学、京都工芸繊維大学など20大学のほか、京都商工会議所など計46団体。

また関西の大手企業と中小・ベンチャー企業とのビジネスマッチングを図る「京銀・KIIPビジネス・フォーラム」も開催。今年は12月15日に同行の金融大学校桂川キャンパスで開催する予定で、現在参加者を募集中だ。参加は同行支店かホームページから。同行では今後も地元企業の成長・発展への支援を通じて、より一層、地域活性化の貢献に努める。

サムコ

京都南部で研究拠点形成活動

サムコは「最先端の薄膜技術で世界の産業科学に貢献する」を経営理念に掲げ、環境負荷低減に貢献するグリーンデバイス分野を中心に「グローバルニッチで世界のトップを目指す」事業を展開している。

同社の辻理社長が描く成長のシナリオは、窒化物半導体および酸化半導体向けの生産機を重点製品とし、LEDはじめパワー半導体、高周波デバイスなどでの用途展開を図る。市場のターゲットは、欧米および東南アジアでの海外展開が中心で、数値目標には当面、年間売上高100億円達成を目指す。

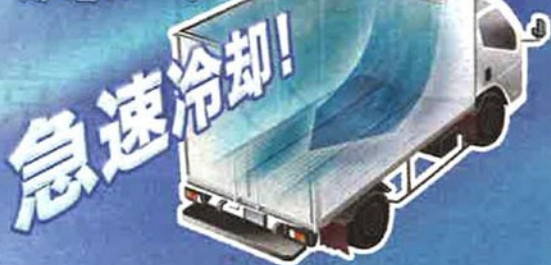
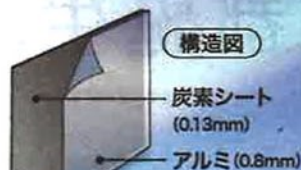
一方で辻社長は、いま力を注いでいる活動に「京都南部地域のイノベーション戦略展開」を挙げる。2013年4月に発足した京都経済同友会の南部部会長として取り組んでおり、現在、情報通信、医療・バイオなどの新成長産業の研究開発拠点として活況を呈している米国・シリコンバレーを例に、京都南部地域をイノベーション拠点として発展させようというものだ。

同地域は、「京都市成長産業創造センター(ACT Kyoto)」が完成、関西学研都市では旧しごと館を活用した「けいはんなオープンイノベーションセンター」もオープン、辻社長は「これらと地域企業とのクロスリンクで戦略展開を図る」と意欲を示している。

京都エコ推進機構より「京都エコスタイル製品」認定

カーボンウェーブ®節電シート

保冷凍車用パネル



内装に貼るだけで
冷却効果**15%UP**

2トン車と同じ冷却能力で
4トン車が冷えるほど、冷却
効果が高まります。

庫内温度を均一化
冷凍食品の品質維持

急速冷却のため、冷凍車の
ドアの開け閉めによる庫内
の温度上昇を抑えます。

炭素材の研究開発
OHGI株式会社大木工藝

滋賀県大津市中野3丁目4番13号 TEL: 077-549-1309
E-mail: kyoto@ohki-techno.com
URL: http://www.ohki-techno.com/

SAMCO
PARTNERS IN PROGRESS

薄膜技術で世界の 産業科学に貢献する

私たちは、環境負荷低減に寄与する
グリーンデバイス分野で、
最先端の半導体製造装置を
世界中の生産現場や
研究者の皆様に提供しています。

SEMICON Japan 2014 出展

会期 2014年12月3日(水)~5日(金)
会場 東京ビッグサイト
ブース No.4176 (HALL 4)

皆様のご来場をお待ちしております。

サムコ株式会社

東証一部 証券コード 6387

www.samco.co.jp

〒751-8443 京都府伏見区竹田岡屋町36 TEL (075) 621-7841 FAX (075) 621-0936

